

果樹・茶用殺虫剤

エクシレル[®] SE

powered by

CYAZYPYR[®]
ACTIVE INGREDIENT

**米国・台湾でも愛されるお茶作りを。
世界に誇れる品質を虫害から守り続けます。**

- 発蛾最盛期の成虫期防除で次世代の幼虫の発生を抑えることが出来ます。
- 米国・台湾向け茶の輸出において、残留基準値が設定されました。
- チャトゲコナジラミの天敵(シルベストリコバチ)への高い安全性。

吸汁性害虫からチョウ目害虫まで
幅広い殺虫スペクトラム(クロススペクトラム)



チャノミドリヒメヨコバイ



チャノキイロアザミウマ



チャノコカクモンハマキ



チャハマキ

●チャノコカクモンハマキ成虫に対する効果

	生存虫率(%)							
	2日後		5日後		7日後		10日後	
	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀
エクシレル [®] SE	53.3	56.7	20	33.3	0	6.7	0	3.3
蒸留水	100	100	96.7	100	90	93.3	21.7	46.7

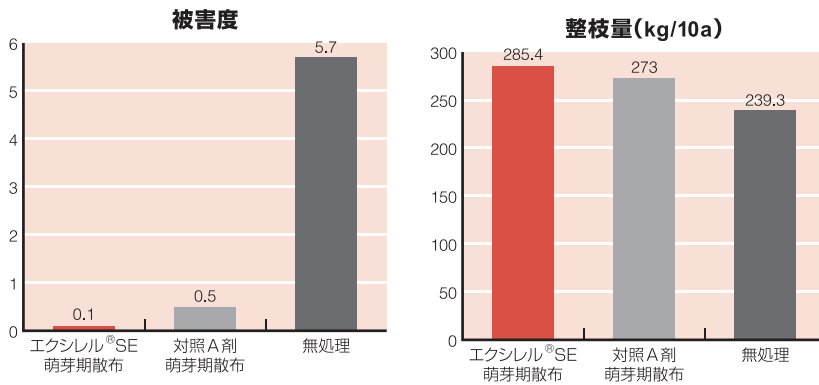
	産卵率(%)			平均卵塊数	交尾率(%)	ふ化率(%)
	5日後	7日後	10日後			
エクシレル [®] SE	0	3.3	3.3	1	40	0
蒸留水	43.3	70	73.3	4.3	90	60

【試験概要】

2015年 福岡県農業総合試験場八女分場
 試験方法：供試薬剤をハンドスプレーでアイスクリームカップとその蓋に計2ml噴霧し、自然乾燥させた。また、無農薬圃から採取した茶葉を前述の薬液に60秒間浸漬し、風乾後、1カップ当たり6枚投入した。なお、成虫の水分補給用として、水道水で湿らせた脱脂綿を入れた。
 供試虫：羽化24時間以内の未交尾コカクモンハマキ成虫(雌1頭、雄2頭)を1組/カップとし、30組供試した。
 飼育条件：21℃ 15L-9D
 調査：成虫の生存状況を試験開始2日後、5日後、7日後、10日後に調査した。また、産下した卵塊数、精包の有無(交尾率)を調査した。

薬剤に接触した成虫には麻痺症状が見られました。
 本剤に触れた成虫に対して、交尾阻害、産下卵塊数の低下、生存日数の減少を引き起こす可能性があります。以上から成虫発生期に散布しても防除効果が得られます。
 ※チャハマキについても同様の傾向が確認されています。

●チャノミドリヒメヨコバイに対する高い効果



2013年 鹿児島県農業開発総合センター茶業部

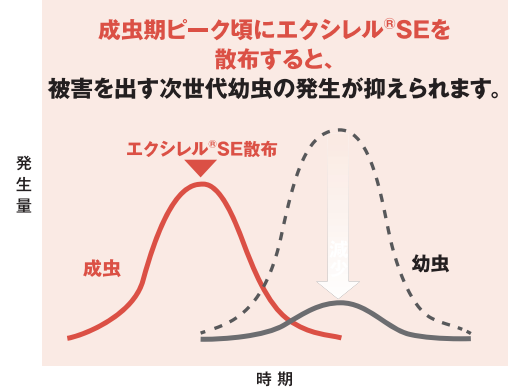
【試験概要】

品 種：やぶきた
 区 制：3区制 1区10.8㎡
 処理日：8月14日、8月19日
 調査日：8月28日
 発生量：多発生(チャノミドリヨコバイ)

エクシレル[®]SEはチャノミドリヒメヨコバイに対して、速やかに摂食活動を阻害し、結果として整枝量が増加しました。
 そのため、エクシレル[®]SEを秋芽時期に使用することで、次年度の茶作りに貢献します。

●成虫期防除

エクシレル[®]SEは、成虫を対象に発蛾最盛期に防除を行うことで、成虫の正常な交尾や産卵を抑制し、次世代の幼虫の発生を低く抑えることができるため、チャノコカクモンハマキ、チャハマキへの高い効果を期待できます。



■適用害虫と使用方法(適用表より一部抜粋)

2019年8月現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロロールを含む農薬の総使用回数
茶	ヨモギエダシヤク チャハマキ チャノコカクモンハマキ チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ マダラカサハラハムシ ハスモンヨトウ	2000倍	200~ 400 l/10a	摘採7日前まで	1回	散布	1回

その他の適用作物：かんきつ、かんきつ(苗木)、ぶどう、なし、もも、ネクタリン、すもも、あんず、おうとう、りんご

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

